

趣旨・目的

介護職員がより専門的な知識・技術を必要とする業務に専念できるよう、配膳・下膳やシーツ交換、清掃などの周辺業務を行う介護サポーターを雇用することで、介護現場の作業効率の向上を図るとともに、介護の質の向上や介護人材の確保や定着促進等につなげるよう支援する。

主な内容と特徴

介護サポーターの担い手は、元気で働きたい中高年齢者をはじめ、資格がなくても、介護の仕事に興味がある方や短時間の勤務を希望するなど多岐にわたっている。参加法人の近隣世帯にポスティングや新聞折り込みで周知し、期間を限定して介護サポーターを募集する。

事業実施による主な成果、効果

○令和5年度：16法人参加 申込者77人、1日職場体験実施者67人、面接実施者47人、採用人数 23人、継続雇用者17人

○効果：事業として行うことで、福祉・介護分野の仕事に興味があった人が介護分野に参入するきっかけとなっている。参加した2割の人が、今後介護職へステップアップを希望している。参加事業所の半数は介護業務に専念できる時間が増えたと回答し、参加する上で業務の切り分けをすることで、介護の専門性がなくても取り組める仕事の分担を見直す機会にもなっている。

それぞれのメリット



介護
サポーター

就労の機会
生きがいがづくり

事業所

職員の業務軽減
職場の環境改善

利用者

ニーズに応じた丁寧な
サービスを受けることができる

